

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地		
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822		
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地		
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600		
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得						
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
文化 教養	専門	音響学科 (総合音楽)	2年 (昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号		
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		164単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	16842単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人の内数		17人		1人	7人	8人	
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階で評価する。なおE評価は単位未修得とする		
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納		
生徒指導		■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動 (無)		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、 ■就職率 ー% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 ー% ※2 プロミュージシャンデビューになることを目的 とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 10.0% 平成26年5月1日在学者 10名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 9名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等</p> <p>■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。  
(「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

### (開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さきしだ Studio BACU CGI 3Dデザイナー
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科総合音楽専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		ライブ技術1・2	選択実習	1年前期	68	4			○
	○		制作技術1	選択実習	1年前期	34	2			○
	○		制作技術2	選択実習	1年前期	34	2			○
	○		メディア技術1	選択授業	1年前期	34	2			○
	○		メディア技術2	選択授業	1年前期	34	2			○
	○		作品制作1・2	選択実習	1年前期	68	4			○
	○		音楽技術1・2	選択実習	1年前期	68	4			○
	○		音楽技術3・4	選択実習	1年前期	68	4			○
合計					12科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科総合音楽専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		ライブ技術1・2	選択実習	1 年 後 期	64	4			○
	○		制作技術1	選択実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術2	選択実習	1 年 後 期	32	2	○		
	○		メディア技術1	選択授業	1 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術2	選択授業	1 年 後 期	32	2			○
	○		作品制作1・2	選択実習	1 年 後 期	64	4			○
	○		音楽技術1・2	選択実習	1 年 後 期	64	4			○
	○		音楽技術3・4	選択実習	1 年 後 期	64	4			○
合計					12科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式 4)

## 授業科目等の概要

(音響学科総合音楽専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2年前期	34	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2年前期	34	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2	選択実習	2年前期	68	4			○
	○		制作技術1	選択実習	2年前期	34	2			○
	○		制作技術2	選択実習	2年前期	34	2			○
	○		メディア技術 1	選択授業	2年前期	34	2			○
	○		メディア技術 2	選択授業	2年前期	34	2			○
	○		作品制作1・ 2	選択実習	2年前期	68	4			○
	○		音楽技術1・ 2	選択実習	2年前期	68	4			○
	○		音楽技術3・ 4	選択実習	2年前期	68	4			○
合計					11科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(音響学科総合音楽専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2	選択実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		制作技術1	選択実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術2	選択実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術 1	選択授業	2 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術 2	選択授業	2 年 後 期	32	2			○
	○		作品制作1・ 2	選択実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		音楽技術1・ 2	選択実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		音楽技術3・ 4	選択実習	2 年 後 期	64	4			○
合計					11科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地		
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822		
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地		
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600		
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得						
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
文化 教養	専門	音響学科(ミュージッククリエイター)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号		
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		264単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1584単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人の内数		15人		1人	7人	8人	
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階で評価する。なおE評価は単位未修得とする		
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納		
生徒指導		■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先 ピットクルー(株) 他 ■就職率100% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 50% ※2 プロミュージシャンデビューになることを目的 とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 2名 ■中退率 11.8% 平成26年5月1日在学者 17名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 15名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等 ■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
  - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
  - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。

技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(音響学科ミュージッククリエイター専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		音楽制作技術1	作曲実習	1年前期	34	2			○
	○		音楽制作技術2・3	作品制作	1年前期	68	4			○
	○		音楽制作技術4・5	ディスクトップミュージック/ヴォーカルディレクション	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術1・2	Protools編集/バンドアンサンブル	0年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	CUBASEレッスン/ヴォイストレーニング	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術5・6	選択レッスン	1年前期	68	4			○
	○		音楽基礎知識	音楽理論	1年前期	34	2	○		
合計					10科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ミュージッククリエイター専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		音楽制作技術 1	作曲実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		音楽制作技術 2・3	作品制作	1 年 後 期	64	4			○
	○		音楽制作技術 4・5	デスクトップミュージック/ヴォーカルディレクション	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術1・2	Protools編集/バンドアンサンブル	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術3・4	CUBASEレッスン/ヴォイストレーニング	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術5・6	選択レッスン	1 年 後 期	64	4			○
	○		音楽基礎知識	音楽理論	1 年 後 期	32	2	○		
合計					10科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ミュージッククリエイター専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史Ⅱ	2年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	2年前期	34	2	△		○
	○		音楽制作技術1	作曲実習	2年前期	34	2			○
	○		音楽制作技術2・3	作品制作Ⅰ	2年前期	68	4			○
	○		音楽制作技術4・5	作品制作Ⅱ/ヴォーカルディレクション	2年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術1・2	Protools編集/バンドアンサンブル	2年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	作品制作Ⅲ/ヴォーカルレッスン	2年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術5・6	選択レッスン	3年前期	68	4			○
	○		音楽基礎知識	音楽理論	2年前期	34	2	○		
合計					8科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ミュージッククリエイター専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史Ⅱ	2 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		音楽制作技術1	作曲実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		音楽制作技術2・3	作品制作Ⅰ	2 年 後 期	64	4			○
	○		音楽制作技術4・5	作品制作Ⅱ/ヴォーカルディレクション	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス技術1・2	Protools編集/バンドアンサンブル	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	作品制作Ⅲ/ヴォーカルレッスン	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス技術5・6	選択レッスン	2 年 後 期	64	4			○
	○		音楽基礎知識	音楽理論	2 年 後 期	32	2	○		
合計					8科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科 (音響エンジニア)	2年 (昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		330単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1518単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
360人の内数		13人		1人	4人	5人
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階でs評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで			卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導	■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応			課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動 (無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先 SoCo Group Studio SoCo、アンカー他</p> <p>■就職率 100% ※1</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 57.1% ※2 (平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 4.0%</p> <p>平成26年5月1日在学者 25名 (平成26年4月入学者を含む)</p> <p>平成27年3月31日在学者 24名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等</p> <p>■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。
  - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
  - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （就職（内定）状況調査）における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。

日々進化していく機材に対応する

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

### (開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。

技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さきしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科音響エンジニア専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2・3・4	PA実習	1年前期	136	8			○
	○		制作技術1	ローディーテクニック	1年前期	34	2			○
	○		制作技術2	舞台制作	1年前期	34	2			○
	○		制作技術3	ステージ演出	1年前期	34	2	○		
	○		制作技術4	音楽著作権	1年前期	34	2	○		
	○		作品制作1・2	レコーディング実習	1年前期	68	4			○
	○		作品制作3・4	protools編集	1年前期	68	4			○
合計					8科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科音響エンジニア専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2・3・ 4	PA実習	1 年 後 期	128	8			○
	○		制作技術1	ローディーテクニック	1 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術2	舞台制作	1 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術3	ステージ演出	1 年 後 期	32	2	○		
	○		制作技術4	音楽著作権	1 年 後 期	32	2	○		
	○		作品制作1・ 2	レコーディング実習	1 年 後 期	64	4			○
	○		作品制作3・ 4	protools編集	1 年 後 期	64	4			○
合計					9科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(音響学科音響エンジニア専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2年前期	34	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2年前期	34	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2	PA実習	2年前期	68	4			○
	○		ライブ技術3	ローディテクニック	2年前期	34	2			○
	○		ライブ技術4	ステージ演出	2年前期	34	2	○		
	○		制作技術1・ 2	ProTools編集	2年前期	68	4			○
	○		制作技術3・ 4	ライブ実習	2年前期	68	4			○
	○		作品制作1・ 2・3・4	レコーディング実習	2年前期	136	8			○
合計					8科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(音響学科音響エンジニア専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2	PA実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		ライブ技術3	ローディテクニック	2 年 後 期	32	2			○
	○		ライブ技術4	ステージ演出	2 年 後 期	32	2	○		
	○		制作技術1・ 2	ProTools編集	2 年 後 期	64	4			○
	○		制作技術3・ 4	ライブ実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		作品制作1・ 2・3・4	レコーディング実習	2 年 後 期	128	8			○
合計					8科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科(コンサートイベント)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		462単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1386単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人の内数		10人	1人	10人	11人	
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階でs評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導		■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先 四季(株)、(株)東京舞台照明他 ■就職率 100% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 100% ※2 (平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成26年5月1日在学者 17名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 17名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等 ■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
  - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
  - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （就職（内定）状況調査）における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。日々進化していく機材に対応する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。

技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科コンサートイベント専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		ライブ技術1・2	照明実習	1年前期	68	4			○
	○		ライブ技術3	PA実習	1年前期	34	2			○
	○		ライブ技術4	ステージ基礎	1年前期	34	2	○		△
	○		制作技術1	ローディーテクニック	1年前期	34	2			○
	○		制作技術2	舞台制作	1年前期	34	2			○
	○		制作技術3	ステージ演出	1年前期	34	2	○		
	○		制作技術4	音楽著作権	1年前期	34	2	○		
	○		メディア技術1・2	イラストレーター&フォトショップ	1年前期	68	4			○
	○		メディア技術3	Office実習	1年前期	34	2			○
	○		メディア技術4	CAD実習	1年前期	34	2			○
合計					12科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科コンサートイベント専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2	照明実習	1 年 後 期	64	4			○
	○		ライブ技術3	PA実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		ライブ技術4	ステージ基礎	1 年 後 期	32	2	○		△
	○		制作技術1	ローディーテクニック	1 年 後 期	64	2			○
	○		制作技術2	舞台制作	1 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術3	ステージ演出	1 年 後 期	32	2	○		
	○		制作技術4	音楽著作権	1 年 後 期	32	2	○		
	○		メディア技術 1・2	イラストレーター&フォトショップ	1 年 後 期	32	4			○
	○		メディア技術 3	Office実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術 4	CAD実習	1 年 後 期	32	2			○
合計				12科目		448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科コンサートイベント専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2年前期	34	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2年前期	34	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2	照明実習	2年前期	68	4			○
	○		ライブ技術3	ステージワーク	2年前期	34	2			○
	○		ライブ技術4	PA実習	2年前期	34	2			○
	○		制作技術1	舞台演出	2年前期	34	2			○
	○		制作技術2	コンサート企画	2年前期	34	2	○		
	○		制作技術3・ 4	ライブ実習	2年前期	68	4			○
	○		メディア技術 1	イベント会議	2年前期	34	2	○		
	○		メディア技術 2	office実習	2年前期	34	2			○
	○		メディア技術 3	CAD実習	2年前期	34	2			○
	○		メディア技術 4	ラジオ番組制作	2年前期	34	2			○
合計					12科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科コンサートイベント専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		ライブ技術 1・2	照明実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		ライブ技術3	ステージワーク	2 年 後 期	32	2			○
	○		ライブ技術4	PA実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術1	舞台演出	2 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術2	コンサート企画	2 年 後 期	32	2	○		
	○		制作技術3・ 4	ライブ実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		メディア技術 1	イベント会議	2 年 後 期	32	2	○		
	○		メディア技術 2	office実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術 3	CAD実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術 4	ラジオ番組制作	2 年 後 期	32	2			○
合計					12科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科 (プロモーション&マネージメント 旧: 音楽ビジュ)	2年 (昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		528単位時間 (又は単位)	66単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1254単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
360人の内数		3人		1人	6人	7人
学期制度	■前期: 4月1日~9月30日 ■後期: 10月1日~3月31日			成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階でs評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み	■学年始め: 4月1日 ■夏 季: 7月下旬から8月下旬まで ■冬 季: 12月下旬から1月下旬まで ■学年末: 2月下旬から4月初旬まで			卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導	■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応			課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動 (無)	
主な就職先	■主な就職先: ソニー・ミュージックマーケティング 札幌、ケイツスクエア他 ■就職率 100% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 71.4% ※2 (平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)			主な資格・検定	特にありません	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成26年5月1日在学者 7名（平成26年4月入学者を含む） 平成27年3月31日在学者 7名（平成27年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等</p> <p>■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。  
（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。

日々進化していく機材に対応する

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

### (開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
メディア技術 2.4 ラジオ番組制作	実際にラジオ番組を制作することにより、メディアと音楽業界とのコミュニケーションを習得する。	株式会社エアジワークス

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。

技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さしだ Studio BACU CGI チーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(音響学科プロモーション&マネージメント専攻 旧:音楽ビジネス専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史 I	1 年 前 期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 前 期	34	2	△		○
	○		ライブ技術1	PA実習	1 年 前 期	34	2		○	
	○		ライブ技術2	コンサート企画	1 年 前 期	34	2	○		
	○		ライブ技術3・4	スタジオワーク	1 年 前 期	68	4			○
	○		制作技術1・2	イラストレーター&フォトショップ	1 年 前 期	68	4			○
	○		制作技術3	Office実習	1 年 前 期	34	2			○
	○		制作技術4	CAD実習	2 年 前 期	34	2			○
	○		メディア技術1	映像編集	1 年 前 期	34	2			○
	○		メディア技術2	ラジオ番組制作	1 年 前 期	34	2			○
	○		メディア技術3	Protools編集	1 年 前 期	34	2			○
	○		メディア技術4	音楽著作権	1 年 前 期	34	2	○		
合計					11科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科プロモーション&マネージメント専攻 旧:音楽ビジネス専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		ライブ技術1	PA実習	1 年 後 期	32	2		○	
	○		ライブ技術2	コンサート企画	1 年 後 期	32	2	○		
	○		ライブ技術3・4	スタジオワーク	1 年 後 期	64	4			○
	○		制作技術1・2	イラストレーター&フォトショップ	1 年 後 期	64	4			○
	○		制作技術3	Office実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		制作技術4	CAD実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術1	映像編集	1 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術2	ラジオ番組制作	1 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術3	Protools編集	1 年 後 期	32	2			○
	○		メディア技術4	音楽著作権	1 年 後 期	32	2	○		
合計					11科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科プロモーション&マネージメント専攻 旧:音楽ビジネス専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2年前期	34	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2年前期	34	2	△		○
	○		ライブ技術1	PA実習	2年前期	34	2			○
	○		ライブ技術 2・3	ライブ実習	2年前期	68	4			○
	○		ライブ技術4	舞台演出実習	2年前期	34	2	○		
	○		制作技術1	パブリシティゼミ	2年前期	34	2			○
	○		制作技術2	イベント会議	2年前期	34	2	○		
	○		制作技術3	CAD実習	2年前期	34	2			○
	○		制作技術4	Office実習	2年前期	34	2			○
	○		メディア技術 1	映像編集	2年前期	34	2			○
	○		メディア技術 2	ステージ演出	2年前期	34	2	○		
	○		メディア技術 3	コンサート企画	2年前期	34	2	○		
	○		メディア技術 4	ラジオ番組制作	2年前期	34	2			○
合計					11科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科プロモーション&マネージメント専攻 旧:音楽ビジネス専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			時事ジャーナル	音楽史Ⅱ	2年後期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2年後期	32	2	△		○
	○		ライブ技術1	PA実習	2年後期	32	2			○
	○		ライブ技術 2・3	ライブ実習	2年後期	64	4			○
	○		ライブ技術4	舞台演出実習	2年後期	32	2	○		
	○		制作技術1	パブリシティゼミ	2年後期	32	2			○
	○		制作技術2	イベント会議	2年後期	32	2	○		
	○		制作技術3	CAD実習	2年後期	32	2			○
	○		制作技術4	Office実習	2年後期	32	2			○
	○		メディア技術 1	映像編集	2年後期	32	2			○
	○		メディア技術 2	ステージ演出	2年後期	32	2	○		
	○		メディア技術 3	コンサート企画	2年後期	32	2	○		
	○		メディア技術 4	ラジオ番組制作	2年後期	32	2			○
合計					11科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科 (ヴォーカル)	2年 (昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		264単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1584単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
360人の内数		7人		1人	7人	8人
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階で評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導		■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動 (無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、 ■就職率 ー% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 ー% ※2 プロミュージシャンデビューになることを目的 とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成26年5月1日在学者 8名 平成27年3月31日在学者 8名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等 ■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する  
(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さきしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ヴォーカル専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2	ヴォーカルレッスン	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	バンドアンサンブル	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術5・6	ヴォーカルディレクション	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術7・8	ヴォイストレーニング	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術9	選択レッスン1	1年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術10	選択レッスン2	1年前期	34	2			○
	○		作品制作1	音楽理論	1年前期	34	2	○		
	○		作品制作2	作曲	1年前期	34	2			○
合計					10	科目	476単位時間(28単位)			

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ヴォーカル専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		パフォーマンス 技術1・2	ヴォーカルレッスン	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術3・4	バンドアンサンブル	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術5・6	ヴォーカルディレクション	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術7・8	ヴォイストレーニング	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術9	選択レッスン1	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術10	選択レッスン2	1 年 後 期	64	4			○
	○		作品制作1	音楽理論	1 年 後 期	32	2	○		
	○		作品制作2	作曲	1 年 後 期	32	2			○
合計				10科目	448単位時間(28単位)					

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ヴォーカル専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史Ⅱ	2年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	2年前期	34	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2	ヴォーカルレッスン	2年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	バンドアンサンブル	2年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術5・6	ヴォーカルディレクション	2年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術7・8	ヴォイストレーニング	2年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術9	選択レッスン1	2年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術10	選択レッスン2	2年前期	34	2			○
	○		作品制作1	音楽理論	2年前期	34	2	○		
	○		作品制作2	作曲	2年前期	34	2			○
合計					10	科目	476単位時間(28単位)			

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ヴォーカル専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史Ⅱ	2 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2	ヴォーカルレッスン	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	バンドアンサンブル	2 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術5・6	ヴォーカルディレクション	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス技術7・8	ヴォイストレーニング	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス技術9	選択レッスン1	2 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術10	選択レッスン2	2 年 後 期	64	4			○
	○		作品制作1	音楽理論	2 年 後 期	32	2	○		
	○		作品制作2	作曲	2 年 後 期	32	2			○
合計				10科目	448単位時間(28単位)					

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科(ダンス &ヴォーカル)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学 省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		198単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1650単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
360人の内数		4人		1人	7人	8人
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階で評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導		■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先 ■就職率-% ■卒業者に占める就職者の割合-%</p> <p>平成26年度新設専攻のため、実績なし</p> <p>プロミュージシャンデビューになることを目的とした専攻となります。</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成26年 5月1日在学者 1名 平成27年 3月31日在学者 1名</p> <p>■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等</p> <p>■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。  
（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する  
(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ダンス&ヴォーカル専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史 I	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2	ヴォーカルディレクション	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	ヴォイストレーニング	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術5・6	バンドアンサンブル	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術7・8	HipHopダンスレッスン	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術9・10	Jazzダンスレッスン	1年前期	68	4			○
	○		作品制作1	フリースタイルダンス1	1年前期	34	2			○
	○		作品制作2	フリースタイルダンス2	1年前期	34	2			○
合計						10	科目	476単位時間(28単位)		

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ダンス&ヴォーカル専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		パフォーマンス 技術1・2	ヴォーカルディレクション	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術3・4	ヴォイストレーニング	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術5・6	バンドアンサンブル	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術7・8	HipHopダンスレッスン	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術9・10	Jazzダンスレッスン	1 年 後 期	64	4			○
	○		作品制作1	フリースタイルダンス1	1 年 後 期	32	2			○
	○		作品制作2	フリースタイルダンス2	1 年 後 期	32	2			○
合計					10科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ダンス&ヴォーカル専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史Ⅱ	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2	ヴォーカルレッスン	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術3	Jazzダンスレッスン	1年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術4・5	バンドアンサンブル	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術6・7・8・9	ヴォーカルディレクション	1年前期	136	8			○
	○		パフォーマンス技術10	音楽理論	1年前期	34	2	○		
	○		作品制作1	フリースタイルダンス1	1年前期	34	2			○
	○		作品制作2	フリースタイルダンス2	1年前期	34	2			○
合計					10	科目	476単位時間(28単位)			

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ダンス&ヴォーカル専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史Ⅱ	2 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム 業界研究	ホームルーム業界研究	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		パフォーマンス 技術1・2	ヴォーカルレッスン	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術3	J-POP	2 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術4・5	バンドアンサンブル	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術6・ 7・8・9	ダンスレッスン	2 年 後 期	128	8			○
	○		パフォーマンス 技術10	リズムトレーニング	2 年 後 期	32	2			○
	○		作品制作1	音楽基礎	2 年 後 期	32	2	○		
	○		作品制作2	楽曲制作	2 年 後 期	32	2			○
合計					10科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科(ギター)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		264単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1584単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人の内数		7人	1人	6人	7人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階でs評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで			卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応			課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、 ■就職率 ー% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 ー% ※2 プロミュージシャンデビューになることを目的 とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 9.1% 平成26年5月1日在学者 11名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 10名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等 ■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものである。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。  
(「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

### (開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU CGI チーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌ビジュアルアート	平成11年1月27日	末吉 良任	〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人北海道安達学園	平成1年11月28日	安達保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2822			
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科(ドラム)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	264単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1584単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
360人の内数	4人	1人	6人	7人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあった評価をA・B・C・D・Eの5段階でs評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで			卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応			課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、 ■就職率-% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合-% ※2 プロミュージシャンデビューになることを目的とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成26年5月1日在学者 5名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 5名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等 ■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものである。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

### (開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さきしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	音響学科(ベース)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		264単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1584単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
360人の内数		4人		1人	5人	6人
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階で評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導		■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 個別対応		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、 ■就職率 ー% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 ー% ※2 プロミュージシャンデビューになることを目的 とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成26年5月1日在学者 5名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 5名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 家庭の事情、経済面の事情、進路変更等</p> <p>■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
石川千鶴子	ミュージックショップ 音楽処 代表取締役
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 端一仁	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

### (開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
業界研究	レコーディングスタジオにおける色々な録音に関するスタジオワーク。	株式会社音響スタッフ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会等の全委員の名簿)

平成27年3月16日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ギター専攻・ベース専攻・ドラム専攻) 平成27年度1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史 I	1年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1年前期	34	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2・3・4	楽器レッスン	1年前期	136	8			○
	○		パフォーマンス技術5・6	バンドアンサンブル	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術7	ジャムセッション	1年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術8	バンドアレンジ	0年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術9	選択レッスン1	1年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術10	選択レッスン2	1年前期	34	2			○
	○		作品制作1	作曲	1年前期	34	2			○
	○		作品制作2	音楽理論	1年前期	34	2	○		
合計					10科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ギター専攻・ベース専攻・ドラム専攻) 平成27年度1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史 I	1 年 後 期	32	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	1 年 後 期	32	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2・3・4	楽器レッスン	1 年 後 期	128	8			○
	○		パフォーマンス技術5・6	バンドアンサンブル	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス技術7	ジャムセッション	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術8	バンドアレンジ	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術9	選択レッスン1	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術10	選択レッスン2	1 年 後 期	32	2			○
	○		作品制作1	作曲	1 年 後 期	32	2			○
	○		作品制作2	音楽理論	1 年 後 期	32	2	○		
合計					10科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ギター専攻・ベース専攻・ドラム専攻) 平成27年度2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史Ⅱ	2年前期	34	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	2年前期	34	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2・3・4	楽器レッスン	2年前期	136	8			○
	○		パフォーマンス技術5	ジャムセッション	2年前期	34	4			○
	○		パフォーマンス技術6	バンドアレンジ	2年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術7	選択レッスン1	2年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術8	選択レッスン2	2年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術9・10	バンドアンサンブル	2年前期	68	2			○
	○		作品制作1	作曲	2年前期	34	2			○
	○		作品制作2	音楽理論	2年前期	34	2	○		
合計					10科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(音響学科ギター専攻・ベース専攻・ドラム専攻) 平成27年度2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	音楽ビジネス総論～音楽史Ⅱ	2年後期	32	2	○		
○			ホームルーム業界研究	ホームルーム業界研究	2年後期	32	2	△		○
	○		パフォーマンス技術1・2・3・4	楽器レッスン	2年後期	128	8			○
	○		パフォーマンス技術5	ジャムセッション	2年後期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術6	バンドアレンジ	2年後期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術7	選択レッスン1	2年後期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術8	選択レッスン2	2年後期	32	2			○
	○		パフォーマンス技術9・10	バンドアンサンブル	2年後期	64	4			○
	○		作品制作1	作曲	2年後期	32	2			○
	○		作品制作2	音楽理論	2年後期	32	2	○		
合計					10科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成11年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	パフォーマンス学科(タレント・俳優)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		132単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1716単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人の内数		7人		1人	5人	6人
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあつた評価をA・B・C・D・Eの5段階でs評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導		■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応：個別対応		課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先 ■就職率100% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 28.5% ※2 外注俳優デビューになることを目的 とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成26年5月1日在学者 13名 (平成25年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 13名 (平成26年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組 継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
中村 信治	合同会社フロンティアファクトリー
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エンタテイメント ビジネス論	エンタテイメント業界のあらゆる製作物の製作方法を学ぶ。 個人のプロフィール、宣伝用ポスター、ちらし、公演用ポスター、ちらし、パンフレット、CDやDVDなどパッケージデザインなどの製作を習得する。	有限会社フィクス

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科タレント俳優専攻) 平成27年度 1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	エンタテインメントにおける製作物のでざいんなどのパソコン操作	1 年 前 期	34	2	△		○
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進路指導	1 年 前 期	34	2	○		
	○		パフォーマンス 技術1・2	演技実習A	1 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマンス 技術3・4	演技実習B	1 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマンス 技術5・6	演技実習C	1 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマンス 技術7	パーソナリティ実習	1 年 前 期	34	2			○
	○		パフォーマンス 技術8	ナレーション実習A	1 年 前 期	34	2			○
	○		パフォーマンス 技術9	ナレーション実習A	1 年 前 期	34	2			○
	○		パフォーマンス 技術10	舞台作品研究	2 年 前 期	34	2	○		
	○		総合演技1	ヴォイストレーニング	1 年 前 期	34	2			○
	○		総合演技2	ダンスレッスン	1 年 前 期	34	2			○
合計					11科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科タレント俳優専攻) 平成26年度 1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	エンタテインメントにおける製作物のでざいんなどのパソコン操作	1 年 後 期	32	2	△		○
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進路指導	1 年 後 期	32	2	○		
	○		パフォーマンス 技術1・2	演技実習A	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術3・4	演技実習B	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術5・6	演技実習C	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術7	パーソナリティ実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術8	ナレーション実習A	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術9	ナレーション実習A	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術10	舞台作品研究	1 年 後 期	32	2	○		
	○		総合演技1	ヴォイストレーニング	1 年 後 期	32	2			○
	○		総合演技2	ダンスレッスン	1 年 後 期	32	2			○
合計					11科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科タレント俳優専攻) 平成26年度 2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進 路指導	2 年 前 期	34	2	△		○
	○		パフォーマン ス技術1・2	演技実習A	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマン ス技術3・4	演技実習B	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマン ス技術5・6	演技実習C	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマン ス技術7・8	演技実習D	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマン ス技術9・1 0	スタジオワーク (アフレコ)	2 年 前 期	68	4			○
	○		総合演技1	ヴォイストレーニング	2 年 前 期	34	2			○
	○		総合演技2	パーソナリティ実習	2 年 前 期	34	2			○
	○		総合演技3	ラジオ制作	2 年 前 期	34	2			○
合計					9科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科タレント俳優専攻) 平成26年度 2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進 路指導	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		パフォーマン ス技術1・2	演技実習A	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術3・4	演技実習B	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術5・6	演技実習C	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術7・8	演技実習D	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術9・1 0	スタジオワーク (アフレコ)	2 年 後 期	64	4			○
	○		総合演技1	ヴォイストレーニング	2 年 後 期	32	2			○
	○		総合演技2	パーソナリティ実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		総合演技3	ラジオ制作	2 年 後 期	32	2			○
合計					9科目	448単位時間(28単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
専門学校札幌ビジュアルアート		平成11年1月27日	末吉 良任		〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西9丁目3-17 (電話) 011-272-2822	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人北海道安達学園 理事長 安達保敏		平成1年11月28日	安達保敏		〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600	
目 的	広くエンターテイメント業界の動きに則したスキルを身に着け、併せて社会人として教養やマナーの習得					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	パフォーマンス学科(声優ナレーター)	2年(昼)	1848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		66単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1782単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人の内数		12人		1人	5人	6人
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 前期 後期それぞれ習得度にあった評価をA・B・C・D・Eの5段階でs評価する。なおE評価は単位未修得とする	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで			卒業条件	2年間で1700単位時間の出席と96単位取得 学費の完納	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応： 個別対応			課外活動	■課外活動の種類 特に無し ■サークル活動(無)	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先          ■就職率100% ※1          ■卒業者に占める就職者の割合          8.3% ※2          声優ライターデビューになることを目的          とした専攻となります。</p> <p>(平成26年度卒業者に関する          平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>特にありません</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成26年5月1日在学者 16名 (平成26年4月入学者を含む)          平成27年3月31日在学者 16名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組          継続的な個人面談による指導</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf">http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf</a></p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。  
 （「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実際の現場と同じ業務の手順を身に着ける。スタジオワークがどのように流れていくのかを体験する。  
日々進化していく機材に対応する

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
斉藤ちづ	特定非営利活動法人コンカリーニョ 理事長
中村 信治	合同会社フロンティアファクトリー
副校長 山崎五郎	専門学校札幌ビジュアルアーツ
学科長代理 深澤 慎一	専門学校札幌ビジュアルアーツ

### (開催日時)

- 第1回 平成25年11月22日 17:40～開催済
- 第2回 平成26年2月5日 18:00～開催済
- 第3回 平成26年9月18日 15:00～開催済
- 第4回 平成27年3月30日 15:00～開催済
- 第5回 平成27年10月2日 15:00～開催予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実際の職業実務に即した実践的、専門的な実習授業

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エンタテイメント ビジネス論	エンタテイメント業界のあらゆる製作物の製作方法を学ぶ。 個人のプロフィール、宣伝用ポスター、ちらし、公演用ポスター、ちらし、パンフレット、CDやDVDなどパッケージデザインなどの製作を習得する。	有限会社フィクス

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

年2回以上の最新の情報を享受できる研修に参加する。  
技術研修・教員能力研修など

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月28日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU CGIチーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA\\_20150226.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SVA_20150226.pdf)

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

URL: [http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva\\_02onkyou\\_s.pdf](http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/sva_02onkyou_s.pdf)

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科声優ナレーター専攻) 平成26年度 1年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	エンタテインメントにおける製作物のでざいんなどのパソコン操作	1年前期	34	2	△		○
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進路指導	1年前期	34	2	○		
	○		パフォーマンス技術1・2	演技実習A	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術3・4	演技実習B	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術5・6	演技実習C	1年前期	68	4			○
	○		パフォーマンス技術7	パーソナリティ	1年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術8	ナレーション実習	1年前期	34	2			○
	○		パフォーマンス技術9・10	アフレコ実習	1年前期	68	4			○
	○		総合演技1	ヴォイストレーニング	1年前期	34	2			○
	○		総合演技2	ダンスレッスン	1年前期	34	2			○
合計					10科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科声優ナレーター専攻) 平成27年度 1年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			エンタテインメントビジネス論	エンタテインメントにおける製作物のでざいんなどのパソコン操作	1 年 後 期	32	2	△		○
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進路指導	1 年 後 期	32	2	○		
	○		パフォーマンス 技術1・2	演技実習A	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術3・4	演技実習B	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術5・6	演技実習C	1 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマンス 技術7	パーソナリティ	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術8	ナレーション実習	1 年 後 期	32	2			○
	○		パフォーマンス 技術9・10	アフレコ実習	1 年 後 期	64	4			○
	○		総合演技1	ヴォイストレーニング	1 年 後 期	32	2			○
	○		総合演技2	ダンスレッスン	1 年 後 期	32	2			○
合計					10科目	448単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科声優ナレーター専攻) 平成27年度 2年前期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進路指導	2 年 前 期	34	2	△		○
	○		パフォーマンス 技術1・2	演技実習A	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマンス 技術3・4	演技実習B	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマンス 技術5・6	演技実習C	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマンス 技術7・8	演技実習D	2 年 前 期	68	4			○
	○		パフォーマンス 技術8・1 0	アフレコ実習	2 年 前 期	68	4			○
	○		総合演技1	ナレーション実習	2 年 前 期	34	2			○
	○		総合演技2	ヴォイストレーニング	2 年 前 期	34	2			○
	○		総合演技3	ラジオ制作	2 年 前 期	34	2			○
合計					9科目	476単位時間(28単位)				

(別紙様式4)

## 授業科目等の概要

(パフォーマンス学科声優ナレーター専攻) 平成27年度 2年後期										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			ホームルーム 業界研究	校内連絡事項、定期公演ミーティング、進路指導	2 年 後 期	32	2	△		○
	○		パフォーマン ス技術1・2	卒業制作A	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術3・4	卒業制作B	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術5・6	卒業制作C	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術7・8	卒業制作D	2 年 後 期	64	4			○
	○		パフォーマン ス技術8・1 0	アフレコ実習	2 年 後 期	64	4			○
	○		総合演技1	ナレーション実習	2 年 後 期	32	2			○
	○		総合演技2	ヴォイストレーニング	2 年 後 期	32	2			○
	○		総合演技3	ラジオ制作	2 年 後 期	32	2			○
合計					9科目	448単位時間(28単位)				